

国内初FOS認証取得

池下産業製造のマイワシ魚油

【北海道】池下産業（北海道広尾町、池下藤一郎社長）が製造する太平洋マイワシ由来の魚油が、海洋資源の持続可能性を評価する国際認証「Friend of the Sea (FOS)」を国内で初めて取得した。認証取得を支援したUMITO Partners（東京都中央区、村上春二社長）が2日、発表した。魚油の世界的な需要が高まる中、環境に配慮した国産魚油の世界市場への供給拡大が期待される。

「魚粉・魚油の原料となる水産資源の持続可能性は重要なテーマ。認証取得を機に今後も環境に配慮した水産原料の供給に取り組む、将来的には海洋管理協議会（MSC）認証の取得につなげていきたい」。兼松は「日本の水産資源の新たな可能性を示す重要な一歩。今後も関係者とともに責任ある調達と価値創出を両立する事業を世界市場へ届ける取り組みを推進していく」（穀物飼料部）としていた。

海洋資源の持続性評価

認証対象となったのは、道東沖で巻網船が漁獲する太平洋マイワシを原料に池下産業が製造する魚油。同社と商社の兼松（同千代田区）が国産魚油の輸出拡大を図るため認証審査を推進。UMITO社が取得に向けた準備や審査対応を支援した。



池下藤一郎社長

健康食品の原料として需要が拡大。原料調達における持続可能性の証明が国際的に求められている。太平洋マイワシは公海にまたがる資源で管理が複雑なことから、これまで国内では持続可能性を公式に証明できる魚油・魚粉はなかった。池下産業、兼松、大型巻網船の浜平漁業（静岡県沼津市）、UMITO社の4社は2022年7月に「北海道マイワシ

ける持続可能性の証明が国際的に求められている。太平洋マイワシは公海にまたがる資源で管理が複雑なことから、これまで国内では持続可能性を公式に証明できる魚油・魚粉はなかった。池下産業、兼松、大型巻網船の浜平漁業（静岡県沼津市）、UMITO社の4社は2022年7月に「北海道マイワシ

海の生態系への影響、混獲対策、船や工場のエネルギー・ごみ管理、労働環境など幅広い項目で事業の持続可能性を評価。池下産業の池下社長は



道東沖のマイワシ水揚げ



池下産業が製造する魚油

